

# 駅舎立ち寄り日本鉄道つたい歩き旅

## 宗谷本線(稚内=和寒:223.1km)8泊9日の旅①

1973年卒(数学専攻) 檜原 勉

<1日目> 平成27年6月20日(土)晴れ

家内にさがみ野まで7時20分頃送ってもらう。さがみ野駅前で腕時計を忘れていたのに気付き返す。横浜駅8時44分発の羽田空港行き(京急)で羽田へ。旭川空港には13時頃到着。



旭川空港

旭川駅、旭川空港、旭山動物園はトライアングルにした位置関係であった。ここから旭山動物園までの直通のバスはなかった。数年前まではあったそうであるが。バスを利用するのであれば、旭川駅まで戻り、そこから旭山動物園に向かうコースとなる。このプランだと2時間位余計アクセスを要する。それ故、タクシー(料金4,150円)で旭川市旭山動物園に向かうこととする。結果的に大成功。旭山動物園で少なくとも時間が取れるからだ。タクシーの中で、運転手の方と色々な世間話をする。「北海道ではこの界隈から南に向けて、コメの生産力は高い。そして、コメは名寄を過ぎるとできない。音威子府辺りから木々を中心に風景が変化する」と。



旭山動物園で重いリュックを背負い、3時間位色々な動物を觀賞する。東北の旅のように腰が痛まなく安堵する。キリン、カバ、ダチョウ、ヤギ、オラウンタン、白くま、アザラシ、ペンギン、オオカミ、トラ、ライオン、孔雀……。この動物園の特徴は、種々のアングルから動物を觀賞できるところにあった。このような觀賞は生まれて初めて。北海道ならではの体験だろう。特に、かば、アザラシ、白くま館は印象的であった。園内の休憩場でソフトクリーム(350円)を。暑くなりかけた体を冷やしてくれた。16時30分のバス(料金820円)で旭川駅へ。



駅前の東横イン(301号)には16時18分に到着する。動物園で購入した絵葉書(500円)でお袋や家内等にメッセージをかく。夜は大舟(4,698円)で旭川の夜を楽しむ。神戸からやって来た原田さんという若者、そしてマスターを交え、2時間位色々雑談する。原田さんが私より少し前に出る。ウォーキングの趣味の方が間もなく見えるとのことで、少し待機するが、来そうもないので私も退散する。英気を養うためにはいい夕食であった。明日からいよいよ稚内から和寒までの鉄道つたい歩きに挑戦するからだ。うきうきした気分で就寝する。



<2日目> 6月21日(日)晴れ

3時前に起床。昨夜、ローソンで購入した、パンとおにぎりで朝食。残念ながら、東横インでの朝食は7時よりのため取れず。体調を整え、5時半頃ホテル(宿泊代 5,950円)をチェックアウト。旭川発6時5分の稚内行列車(1両編成の非電化ワンマンカー)で和寒駅(6時56分着)へ。運賃は740円要する。この列車は昨年以来2回目である。



旭川駅

旭川～和寒までの風景は1年振りなので、懐かしかった。昨年、苦勞した駅舎が次々と登場。7時過ぎからウォーキング開始。地図を見る限り、東六線駅、剣淵駅、そして北剣淵駅は国道40号線に面しておらず、負荷を要するだろうと察知。それ故、用心して歩くことにする。和寒駅前で旭川212km、名寄40km、士別17kmの道路標識を目にする。7時11分、和寒中学校前を通過。その手前に東山スキー場の看板があった。7時20分、和寒跨線橋を通過。鉄道の右側を歩く。丁度、上り列車が通過して行く。7時47分、東9線バス停(道北バス)前を通過。ダイヤはザックリ2時間に1本位。7時53分、和寒町大成前を通過。日曜日ということもあり、国道40号線の車の量は先日の盛岡～仙台と同じ位多かった。7時55分、稚内208km、名寄36km、士別13kmの道路標識前を通過。ここまで、順調なペースでの歩きを展開。8時13分、私の万歩計で44歩ある和寒橋を通過。少し行くと、和寒町から剣淵町(カラスのマーク)となる。第六線駅への手前で庭木の手入れをしていた人(私と同じ位の年恰好)と2～3分、歩き関連の話をする。広大な野望に非常に驚いておられた。本日最初の東六線

駅には8時29分到着。国道から500m位離れたところに駅舎があった。この道を再度戻り、再び国道へ。



第六線駅(現在廃駅)

9時5分、東三線を通過。番地が数値なので分かりやすし。よく観察してみると番地の割り振りに規則性があり。8時18分、道の駅「絵本の里けんぶち」に到達。9時30分、国道を左折し、東剣淵線に入る。9時36分、271歩ある剣淵橋(剣淵川)を渡る。9時58分、剣淵地下道を潜り、鉄道の左側となる。駅はこの交差点から300m位引き返したところにあった。剣淵駅には10時3分到着。

剣淵橋 剣淵駅この駅の界隈には、絵本の里を筆頭に色んな観光地があった。この駅から北剣淵まで、鉄道の左側のコースも考えたが、川があり難しいと判断。それ故、当初の予定通り、鉄道下を潜り、鉄道の右を歩くことにする。近道をしようとして、袋小路にぶつかる。近くでいた方に聞き、北剣淵駅への道筋を地図をみせながらお伺いする。10時26分、親切にも自転車で追い掛けてきて、「東剣淵ではないですよ」と確認に来られる。感謝感激する。78歩ある音無橋を渡る。左手200m位先に鉄道線路が確認でき安堵。非電化のため、このような検証作業は重要。とんでもない方向に進むと、リカバリーに負荷を要すると同時に往来の人がいないため、確認できない恐れあり…。11時40分、T字路を左折した先に北剣淵駅があった。





北剣淵駅(現在廃駅)

この駅も、東六線駅と同様、ホームは板張りの粗末な駅であった。ホームの長さは20m~30m位。当然、電気や雨風を凌ぐ駅舎はなかった。丁度、上り列車がやって来る。地図を見る限り、ここから東風連駅近くまでは、国道40号線に沿っており、歩きやすそうな感じであった。それ故、距離的には3分の1(13.9km)だが、半分踏破したような気分になる。

12時1分、310歩ある十二線橋(剣淵川)を横切り、国道40号線に出る。12時6分、剣淵町から士別市(南町)に入る。12時10分、名寄26km、稚内198kmの道路標識前を通過。12時30分、「たけちゃん」でニンニクがたっぷり入った味噌ラーメン(730円)を頂く。20分位休憩。士別駅には13時30分到着。駅前の歩道はレールをイメージした感じであった。牛か馬のようなデッサンが歩道に幾つも描かれていた。

13時45分、名寄22km、美深43km、稚内195kmの道路標識前を通過。13時52分、北星スキー



道路に夢あるデッサン

場看板前を通過。14時15分、384歩ある士別橋(天塩川)を渡る。14時25分、士別跨線橋を渡り。鉄道の左側となる。14時37分、赤い鳥居前を通過。下士別駅には14時53分到着。15時4分、名寄18km、稚内190kmの道路標識(栄橋)前を通過。15時11分、110歩ある多寄橋(夕ヨロス川)を渡る。グリーン屋根の多寄駅には15時53分到着。この駅を過ぎると民家がある街並みから急に山間となる。風をシャットアウトする開閉型の金属製の壁がここから続く。16時12分、鳥居橋を通過。16時40分、瑞穂駅に到着。



多寄駅

16時56分、右手に列車と対面。その先に新寄号橋があった。17時、士別市から名寄市となる。この地点は旭川から66kmの地点とあった。17時27分、もち米の里と記した道の駅でトイレ休憩とペットボトルを補充。17時48分、風連駅に到着。



風連駅

18時11分、旭川から70km地点に到達。その近くに名寄7km、稚内179kmの道路標識があった。18時40分、61歩ある小風連橋を通過。この辺りで国道40号線を右折。鉄道に近づく。非常に勤が

冴えていた。この道を右折しないと東風連駅には行けなかったからだ。18時43分、128歩ある風連橋(風連別川)を渡る。丁度、この橋を上り列車が通過する。鉄道の線路を確認でき安堵。辺りは少し暗くなりかけていた。19時、東風連駅に到着。



東風連駅(名寄高校駅に名称変更)

鉄道に沿ったアカシア通り(538号:朝比奈世路線)を歩く。19時15分、徳田という地名を通過。19時25分、白樺並木がある名寄高校前を通過。19時37分、徳田橋通過。名寄駅には19時55分に到着。



名寄駅

少し駅前で本日のホテルを探すのに戸惑う。偶然にも、駅前通りを歩いている人にお伺いし、ニュー富士屋ホテルを見つけることができる。

駅から2分位歩いた先にあった。商店街は大半がシャッター通りであった。このホテル(315号室)には20時過ぎ到着。宿泊代は5,200円。ロビーの方に、

時間があるようであったので、今回の旅行計画をPRする。奇想天外なプランに驚いておられた。ホテル近くのローソンで夕食を購入(1,612円)。本日の営業キロは39.9km、万歩計は86,721歩だった。残念ながら愛用のIPODも、結果的にはここで惜別となる。長い間お世話になりました。



ニュー富士屋ホテル

(注)本メールマガジンは“小さな挑戦「全国鉄道つたい歩記巡り」”(第15巻)から抜粋し編集したものです。ホームページ“カッシー館”(www.kassy-kan.net)の公開分に比べアングルが若干異なります。